

# 小学部实践報告

宮古特別支援学校 小学部 大道瑛司

# 小学部研究方針

- ① 観点別評価を意識した主体的・対話的で深い学びの授業実践に取り組む
- ② 各学習グループごとに、普段の授業について取り組む

# 小学部実践研究計画

期間	第1ターム 6～7月	第2ターム 8～10月	第3ターム 11～12月
学習グループ		各学習グループ	
教科・領域等		自由	
研究実践の足跡	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 成果と課題、感想 (新型コロナの影響で学習指導案等の作成はなし)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学習指導案</li><li>・ 個別の評価記録</li><li>・ 実践研究の流れ</li><li>・ 成果と課題、感想</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学習指導案</li><li>・ 個別の評価記録</li><li>・ 成果と課題、感想</li></ul>

# 小学部4年 遊びの指導



## ころころキャッチゲーム



# 単元設定の理由

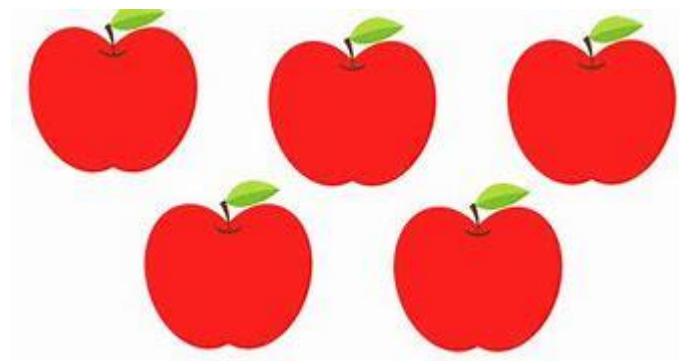
## 児童の実態（数の概念）

1・2・3・4・5・7・8  
1・2・3・\$&#%&…



なんとなく数唱

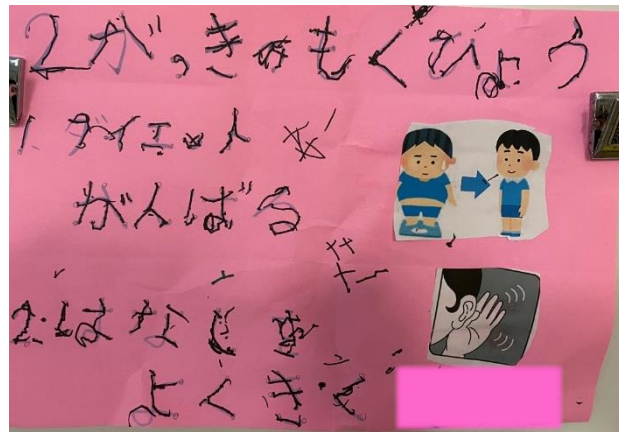
うーん…3こ！！



数量についての理解△

# 単元設定の理由

## 児童の実態



なぞりが苦手



よそ見が多い



友達との関わり〇

# 『ころころキャッチゲーム』

○ボールをキャッチ

：ビジョントレーニング（追視）



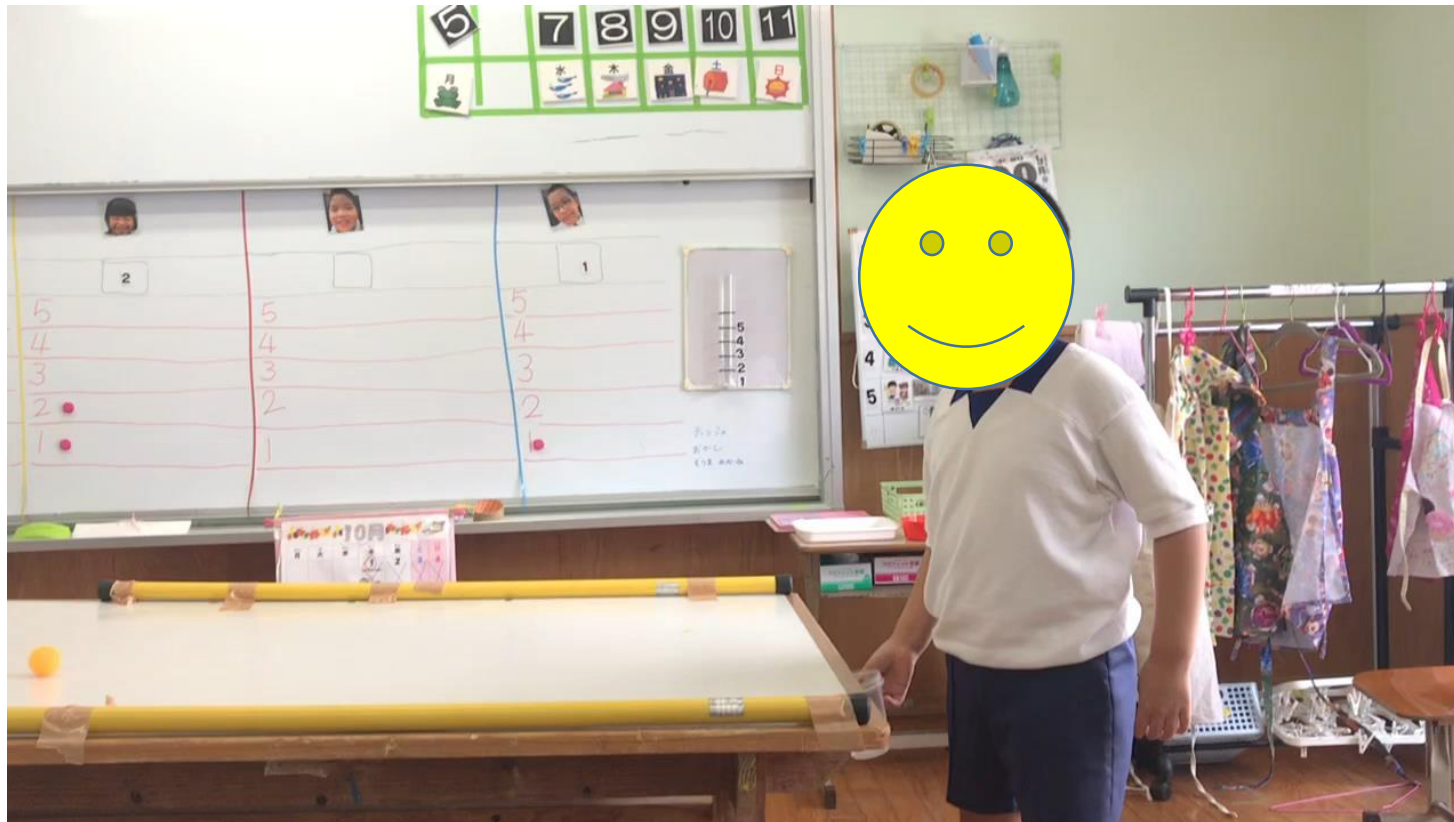
○ボールを数える

：数の概念



# 単元設定の理由

## 『ころころキャッチゲーム』





# 育てたい資質・能力

①数の概念の理解

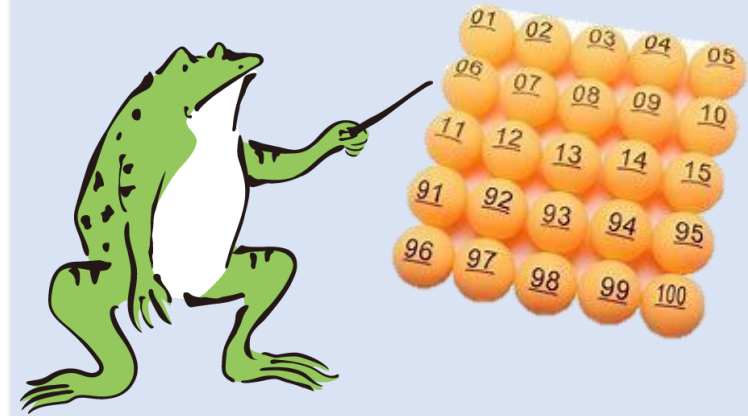
②みんなで楽しく遊ぶ(関わり)

# 観点別目標

- ①数の概念や数量について理解する（知・技）
- ②友達の様子を観察する（思・判・表）
- ③友達とところどころキャッチゲームをする（主）

# 学習計画 『ころころキャッチゲーム』

第1次: ボールを数えよう



(知・技)

第2次: 勝ち負けを考えよう  
(数字の大小)



(思・判・表)

第3次: 自分たちで  
遊んでみよう



(主体)

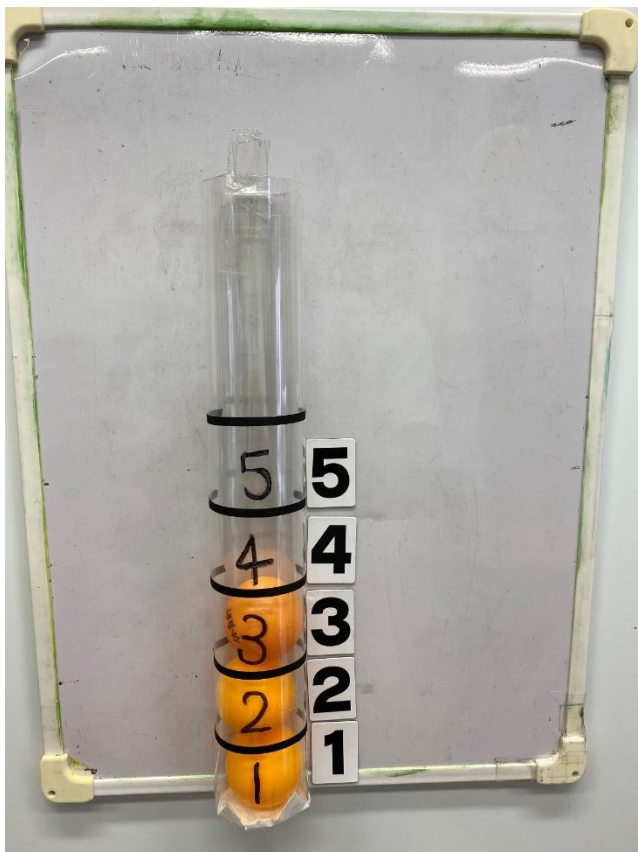
# 学習の様子

## 観点別目標

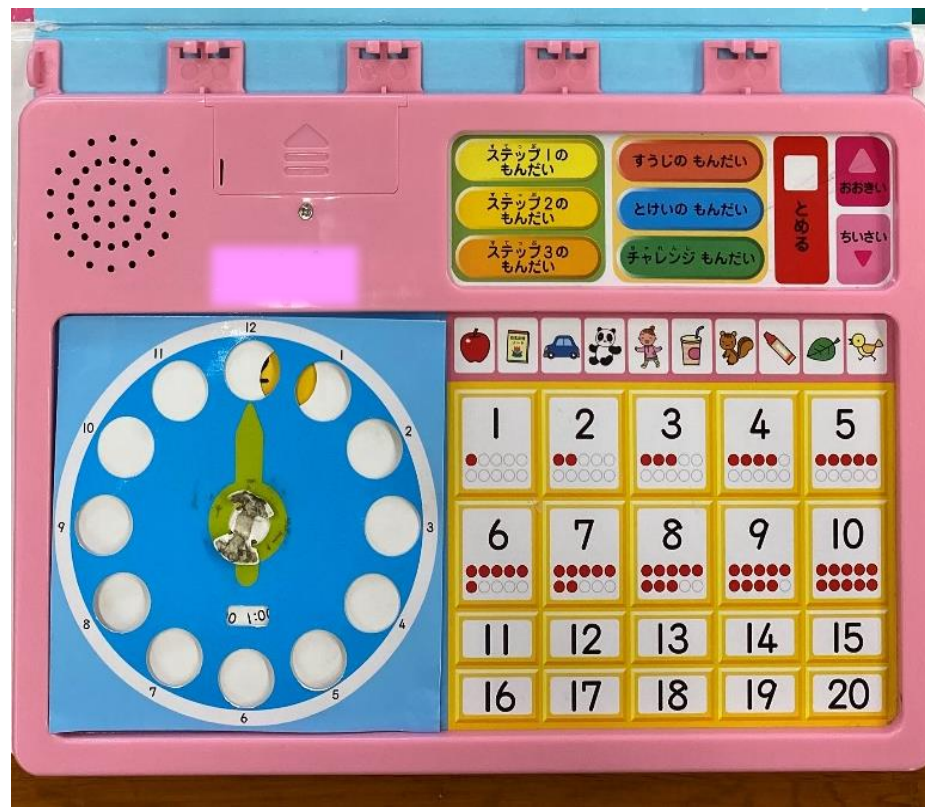
- ①数の概念や数量について理解する（知・技）
- ②友達の様子を観察する（思・判・表）
- ③友達とところどころキャッチゲームをする（主）

# 学習の様子

## ①数の概念や数量について理解する(知・技)

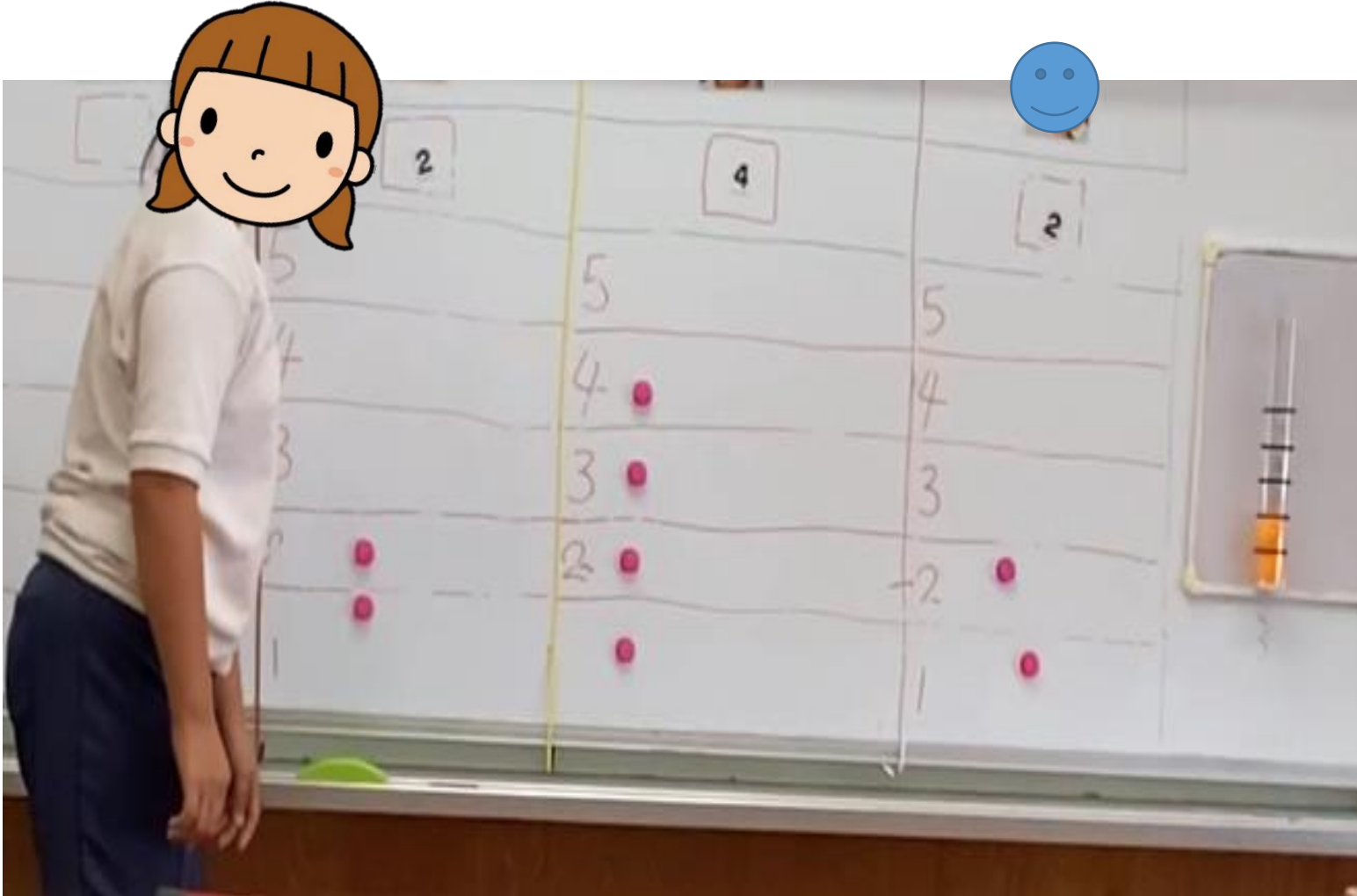


補助具を使うと数える  
ことができた



伝える手段として数字  
絵本を使用した

# ①数の概念や数量について理解する(知・技)



## 勝ち負けの発表

マグネット●を見て勝ち負け(数量比較)を  
考えることができた。

# 学習の様子

## 観点別目標

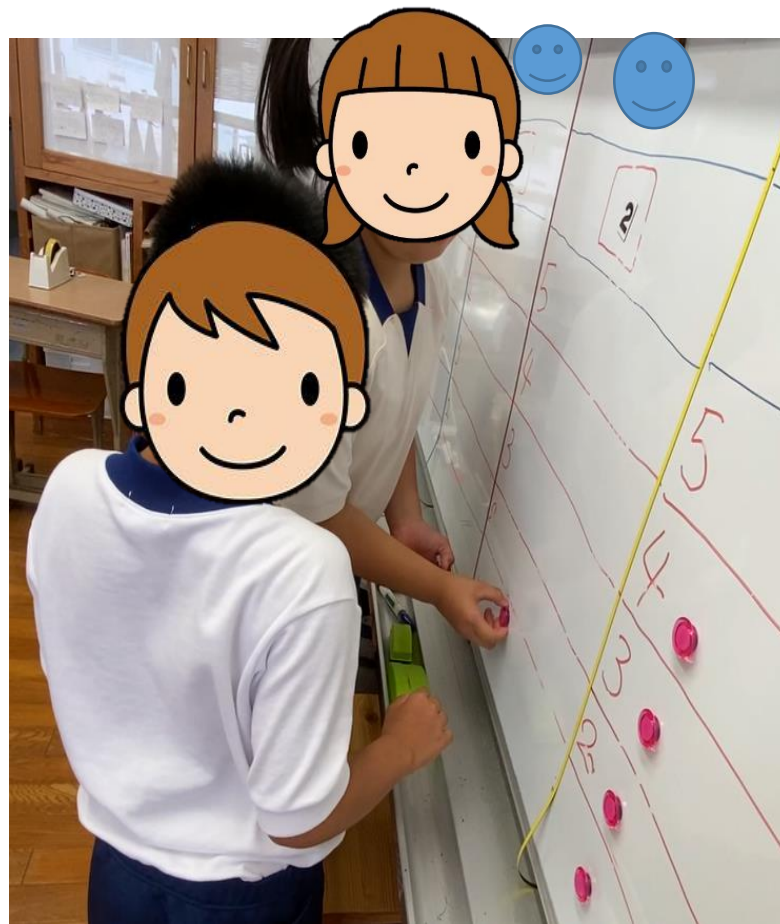
- ①数の概念や数量について理解する（知・技）
- ②友達の様子を観察する（思・判・表）
- ③友達とところどころキャッチゲームをする（主）



## ② 友達を観察する (思・判・表)





①



②

### 友達にアドバイス

①  が  にキャッチの仕方を教える

②  が  に数え方を教える

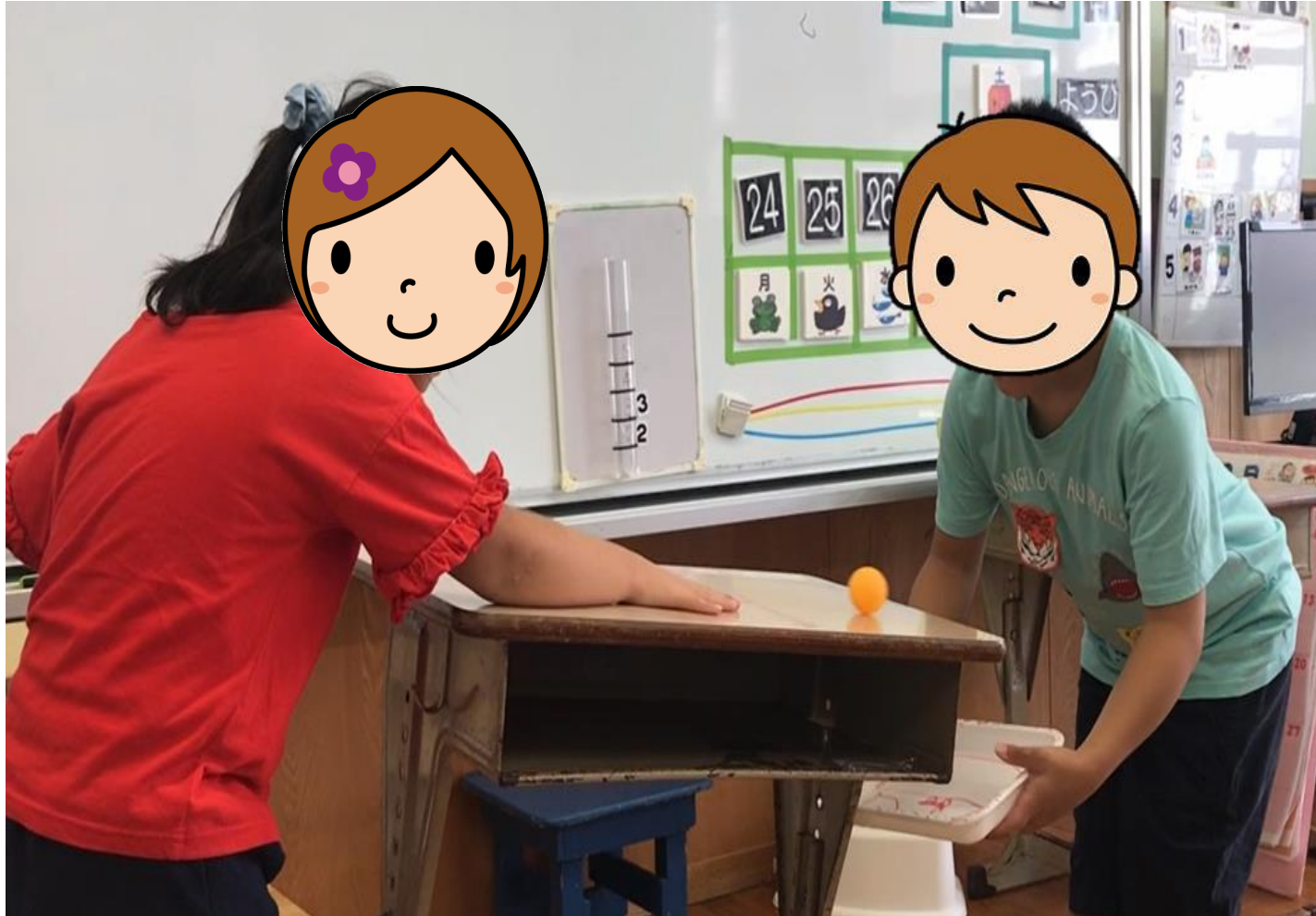


# 学習の様子

## 観点別目標

- ①数の概念や数量について理解する（知・技）
- ②友達の様子を観察する（思・判・表）
- ③友達とところどころキャッチゲームをする（主）

### ③友達ところころキャッチゲームをする（主）

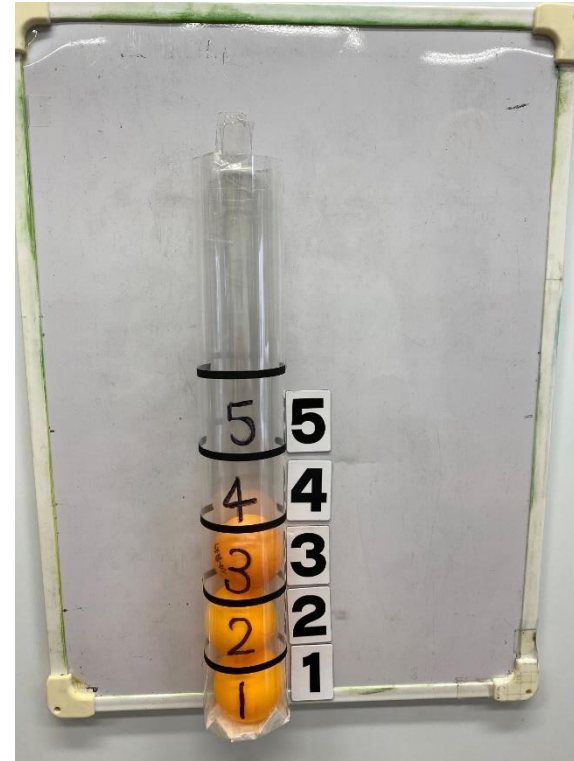
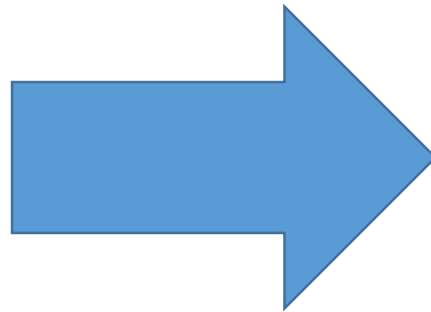


#### 休み時間の様子

休み時間で自分たち  
でころころキャッチ  
ゲームをして遊ぶこと  
ができた。

# 単元を通しての**成果**

☆ 毎授業後の話し合いで授業改善できた



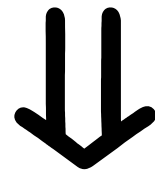
○ 児童に合った教具の作成

# 単元を通しての課題

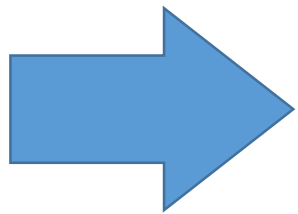
★児童の主体的なふりかえりができる  
方法を考える



●子どもの成長(変容)を教師が伝える

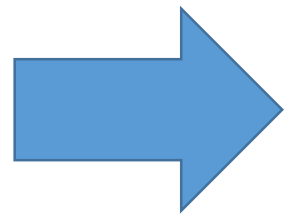


学びの意識化



# 研究の**成果**

## ☆**観点別に目標を立てる**

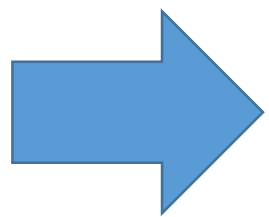


○**評価の視点が定まって評価しやすい**

○**授業の中で一つの観点を重点**

# 研究の課題

★「主体的に学習に取り組む態度」の  
評価が難しかった



- 小学部段階では授業のみでの評価が難しい
- 生活の中で結びつけていく

# 小学部実践研究の成果と課題

## 成果

- ①全職員が指導案や評価記録作成に関わり、  
観点別評価の理解を深めることができた。
- ②学部報告会を通して情報共有ができた。

# 小学部実践研究の成果と課題

## 課題

- ①指導案と評価記録の効果性を高める。
- ②自立活動の評価の整理